

平成 25 年 6 月

(第 2 回)

京都府教育委員会会議録

1 開 会 平成25年 6 月 27日 午前 9 時 10分
閉 会 平成25年 6 月 27日 午前 9 時 40分

2 出席委員

畑 委 員 長 冷 泉 委 員 平 塚 委 員
上 原 委 員 安 藤 委 員 小 田 垣 教 育 長

3 欠席委員

なし

4 出席事務局職員

橋 本	教育次長	小 橋	管理部長
丸 川	教育企画監	太 田	管理部理事
沖 田	学校教育課長	西 村	教職員課長
片 山	総務企画課副課長	仲 井	総務企画課副課長
曾 和	総務企画課副課長	岡 田	総務企画課副主査
瀬 津	総務企画課主事		

5 議事の概要

(1) 開会

委員長が開会を宣告

(2) 報告事項

ア 臨時代理議決の報告について

(ア) 第37号議案 平成25年6月府議会定例会の議決を経るべき議案に対する意見について

【太田管理部理事の報告】

- 平成25年6月府議会定例会に提出された教育委員会関係議案2件に対する意見について、知事から意見を求められたことから、平成25年6月17日付けで教育長の臨時代理議決で異議がないものとして回答したものである。
- 今回の議案については、6月13日の定例教育委員会で議決いただいた議案の続きとして提出されたものである。
- 職員の給与等の特例等に関する条例制定の件については、東日本大震災からの復興に寄与するため、国家公務員の給与が平成24年4月から平成26年3月まで2年間削減されているが、地方についても国に準じる措置を講じるよう要請があり、結果として京都府の地方交付税が100億円、義務教育国庫負担金が15億円、トータルで115億円が削減されたところである。
- 当初予算は、府債管理基金や緑の文化基金等の積み立て基金で穴埋めをして予算編成を行ったが、財源の穴埋めをすることで、府民サービスの低下を招くことがないよう、府職員の給与を平成25年7月から平成26年3月までの9ヶ月間削減する内容の条例が提出された。
- 平成25年度京都府一般会計補正予算（第2号）については、条例改正を受けて予算を減額補正する内容となっている。職員の給与は、職位に応じて段階的に4.2%から管理職は10%の削減、併せて教育委員会を含む行政委員会の委員報酬についても、平成25年7月から平成26年3月まで10%削減される。

イ シンポジウム「未来を担う子どもたちのために」について

【丸川教育企画監の報告】

- 京都府教育委員会と京都大学とは、平成22年5月23日にシンポジウムを開催して以来、大学教授が学校に直接訪れ授業を行う出前授業（子ども知的好奇心をくすぐる体験事業）や数学・物理グランプリ、小学校教員の理科研修を始め、金環日食の観察会、小惑星探査機「はやぶさ」帰還カプセルの展示など、様々な連携事業を実施してきたところである。
- シンポジウム「未来を担う子どもたちのために」は、京都大学との連携事業の一つとして、京都大学百周年時計台記念ホールで実施する。
- 基調講演には、ゴリラの研究で世界的に有名な山極寿一氏に講演をいただき、パネルディスカッションでは、山極氏に加えてノーベル物理学賞受賞者の益川敏英氏、ES細胞研究で世界的に有名な中辻憲夫氏と、小田垣教育長に参加い

ただくこととしている。

- 定員500名で入場無料としており、多くの方々にご参加いただけるよう、広報に努めている。

【質疑応答】

- 畑委員長
動員はどのような工夫をしているのか。
- 丸川教育企画監
各校には、京都市も含めて市町（組合）教育委員会を通じて、府立学校へは、直接、文書でお知らせしている。また、府民の方々には、HPへの掲載に加え、報道機関に記事の掲載をお願いしており、毎日新聞には既に掲載いただいたところである。NHK京都放送局にも予告を放映いただくようお願いしている。
- 畑委員長
こういったシンポジウムは、生涯学習的な要素もあり、高齢の方々は熱心に参加されるが、子育て世代等実際に聞いて欲しい世代の方にも十分届くよう、保護者や生徒にも十分周知いただきたい。
- 丸川教育企画監
7月4日開催のPTA中央指導者研修会でも広報して、周知に努めたい。
- 平塚委員
学校の先生方にも多く参加いただきたい。
- 橋本教育次長
最初のシンポジウムの際も、府立学校を中心にかなりの先生方にご参加いただいていた。一方で、一般参加者の反応がどの程度あるかが分からない。
- 平塚委員
北部でも開催できれば良いと思う。
- 丸川教育企画監
平成22年に実施した際は、450名程度の参加者であったが、教員が7割を占めていた。一般の参加者は100名程度で、周知の難しさはある。
- 冷泉委員
生徒の参加も欲しいところである。
- 橋本教育次長
子ども向けの内容と、大人向けの内容の両方は難しい。どちらかになる。
- 畑委員長
大学生の参加はどうか。
- 丸川教育企画監
大学生の参加はある。大学にも広報用のチラシを配っている。
- 畑委員長
ビデオに収録して、各学校でも活用できるようにしたらどうか。私自身も聞いてみたいと思う。
- 安藤委員
申し込みは往復ハガキだけなのか。インターネットでの申し込みはできないのか。
- 丸川教育企画監
ハガキによる申し込みのみ行っており、ネット申し込みは行っていない。

ウ 今後の地方教育行政の在り方に関する文部科学大臣への意見書の提出について

【太田管理部理事の報告】

- 今後の地方教育行政の在り方に関して、全国都道府県教育委員長協議会と同教育長協議会連名で文部科学大臣に対して平成25年6月20日に意見書が提出された。
- 教育委員会制度等の在り方については、平成25年4月15日に国の教育再生実行会議で第二次提言がまとめられ、4月25日に中央教育審議会に諮問された。これを受けて中央教育審議会教育制度分科会において既に3回、会議が行われている。
- 全国都道府県教育委員長協議会と同教育長協議会では、各都道府県教育委員会へのアンケート調査や教育長協議会特別部会での議論を行い、意見を集約し意見書を取りまとめたものである。
- 意見書の主な内容は、①審議に当たっては、特定の事例をもって全ての教育委員会が同様であると判断せず、教育行政の現状を十分に踏まえる必要がある。②教育の充実につながるかどうかを重視すべきである。③見直しの内容が、その課題解決につながるものとなっているか十分審議すべきであり、特に、「制度上の課題」と「運用上の課題」とを明確に区別して審議いただきたい。④各都道府県・市区町村教育委員会や教職員、保護者、地域住民等の関係者の意見を十分に聴取し、最大限尊重していただきたい。⑤教育の政治的中立性・継続性・安定性の確保、多様な意見の教育行政への反映から極めて重要な役割・機能を果たしてきた現行の教育委員会制度について、その役割・機能が損なわれないようにすべきである。⑥全ての教育委員会を一律に取り扱うのではなく、都道府県、市町村といった教育委員会の役割・機能や、人口規模、運営体制等の相違を十分踏まえて審議すべきである。⑦教育委員会の制度改正のみを検討するのではなく、指導主事や専門職員の配置といった教育委員会の運営体制を充実するための国の支援策も検討されるべきである。といったものである。

【質疑応答】

○上原委員

最終的な形はどのように示されるのか。

○太田管理部理事

中央教育審議会では、9月頃に中間まとめが示され、年内に最終答申が行われる予定で進められている。現在、各委員が自らの経験を踏まえてメリットや課題について意見を出している段階であり、具体的な議論はこれから行われる。

○小橋管理部長

先日の教育長協議会の会議においても、意見書原案について議論が行われたが、大阪府教育長が意見書案に同意していないと案本文に注書きしたことについて、他県教育委員会から「おかしいのではないか。」との意見が多数出された。取りまとめ役の東京都教育長からは、大阪府教育長に説得したが了解が得られず、やむなくこのような形になったとの説明があった。

○畑委員長

個人的な意見だが、私の危惧している部分が挙げられていると思い安心した。

○上原委員

大阪府教育長は、元々、府立高校校長なのか。

○小田垣教育長

府立高校の民間人校長である。

○橋本教育次長

橋下大阪市長の昔からの知り合いである。

(3) 協議事項

ア 技能労務職員の給与等に関する規則の一部を改正する規則の制定について 【非公開】

(4) その他

ア 公開しないこととする議決について

(京都府教育委員会会議規則第15条第1項第1号)

協議事項について、全出席委員異議なく、公開しないこととすることに議決。

(5) 閉会

委員長が閉会を宣告

署 名

畑 委員長

冷 泉 委 員

平 塚 委 員

上 原 委 員

安 藤 委 員

小田垣 教育長

事務局職員